

活動事例

産業界支援

次世代技術活用ビジネスイノベーション
創出事業
(地方創生推進交付金事業)

支援先

県内中小企業等

【内 容】

IoT・AI の知識やビジネス創出ノウハウ等の理解促進を図るとともに新たなビジネス創出を目指して、グループ協議等を通じた各種講座を運営しています。年度はじめにビジネスモデルの重要性を理解いただくなどの機運醸成を目的としたセミナーを開催し、次にビジネスモデル等の作成にチャレンジいただく環境作りとして、IoT・AI 人材育成講座やビジネスプラン構築研修を実施しました。また、昨年度のビジネスプラン審査会で優秀ビジネスプランに選出された2社のビジネスプランについて、事業化に向けた実証支援を行いました。

併せて、ビジネスモデルづくりのための仕組み作りやネタ探しの場として、研究会やコワーキングスペースを運営するなど、一気通貫の支援を行っています。



図1 事業の全体像と年間スケジュール

1. IoT・AI 等活用人材育成講座

新たなテクノロジーについての知識を深め、デジタル技術の仕組みを理解していただき、その上でデータを活用した新ビジネスの企画立案を行う研修を、対象別・レベル別を実施しました(図2)。



図2 IoT・AI 等活用人材育成講座の様子

- ①経営者向け
- ②IT 初級者向け (IoT・AI 活用基礎講座、アプリケーション開発基礎講座、データ分析の基礎講座 (IT 中級者向けと合同開催))
- ③IT 中級者向け (データ分析の基礎講座 (IT 中級者向けと合同開催)、IoT/Python を活用したデータ活用講座、アプリケーション開発実践講座)
- ④デジタル技術活用ビジネス創出ワークショップ



図3 ビジネスプラン構築研修の様子

2. ビジネスプラン構築研修

経験豊富な7名のメンターとともに、自社の新しいビジネスモデルを検討し、ビジネスプランにまとめ上げ、最後にそのプランを発表して頂きました(図3)。

- ・9月から1月の間に月に1回ほど、計6日間実施
- ・1グループ2~3名の7グループで実施
- ・研修日以外も、slack や zoom 等で随時相談可能

3. ビジネスプラン審査会、ビジネスプラン実証支援

ビジネスプラン審査会では、10社が自社のビジネスプランを発表し、その中から優秀プラン3件選定しました。令和3年度ではそれらの事業化に向けた実証支援を行っていきます。また、昨年度のビジネスプラン審査会において優秀プランに選定された2社については、今年度、事業に向けた実証試験に必要な資金提供(上限500万円/社)やメンターによる伴走支援を行いました。これら2社は、共に令和3年度の事業化を予定しています。

4. AI・ビジネスモデル研究会

ニーズや課題を抱える地域や企業等のサービス事業者と、IoT・AI等の技術を保有するIT事業者でグループを形成し、ビジネスモデルの視点で解決策を検討しました。昨年度から活動していた4グループ1分科会に加え、今年は新たに2グループ(⑤、⑥)が活動を始めています。



図4 遠隔測定による商圈拡大グループ活動の様子

＜グループ・分科会活動＞

- ①小売店の接客サービス向上グループ(6社)
- ②自社製品におけるお客様へのサービス提供グループ(9社1団体)
- ③地域・商店街活性化グループ(6社・1商店街)
- ④旅館のサービス生産性向上グループ(6社2団体)
- ⑤遠隔測定による商圈拡大グループ(3社)(図4)
- ⑥観光案内におけるIT活用グループ(8社2団体)
- ⑦IoT・ロボット活用分科会
 - ・画像鮮明化セミナー
 - ・FAスタートアップセミナー
 - ・県内企業の自動化・省力化支援(次ページ参照)

5. コワーキングスペースの運営

会員(企業、大学など)間の交流を進めるとともに、IoT・AI等を活用したビジネスモデル構築やビジネスプランづくりの相談窓口を設けています。

- 会員130名(令和3年1月末時点)
- 相談員2名駐在(2日/週)、プロトタイプ作成支援1名(4日/週)
- イベント開催
 - ・はじめてのリモートワーク「オンラインツール勉強会」(2回)
 - ・デジタル技術を活用したビジネスイノベーションセミナー(6回)
- 情報発信
 - ・ホームページ開設：<http://www.itic.pref.ibaraki.jp/business/index.html>
 - ・Facebook開始：Itic 茨城コワーキングスペース (@ITIC.CS)

【活動の主な成果】

ビジネスプラン構築研修やコワーキングスペースでの相談対応等により、事業化に至った事例を紹介します。

- ・事業化4件(株式会社生田目製材所、有限会社平賀石材店、株式会社フジヨシ、蒲原康子氏)(P.3参照)
- ・起業1件(株式会社スロブレ)

基礎となった事業		令和2年度 次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業			
現在の担当グループ	新ビジネス支援G	グループ長	大城 靖彦	TEL:029-283-7495	
		主任研究員	石川 章弘		
		主 任	岩澤 健太		
		主 任	石川 卓		
		会計年度職員	関谷 正尊		
	IT・マテリアルG	グループ長	若生 進一	TEL:029-293-8575	
		技 師	河原 航		
		会計年度職員	田畑 彰文		
		会計年度職員	野上 卓也		